

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 5月 16日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市博多区金の隈2丁目24番5号

氏 名 萩尾舗道 株式会社

代表取締役 佐藤 忠美

電話番号 092-586-5707

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和<sup>5</sup>年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	萩尾舗道 株式会社
事業場の所在地	福岡市博多区金の隈2丁目24番5号
事業の種類	建設業・職別工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 <sup>5</sup> 年4月1日から令和 <sup>6</sup> 年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,500 <del>1,377</del> t	全処理委託量	1,500 <del>1,377</del> t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	100 <del>110</del> t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1,500 <del>1,377</del> t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

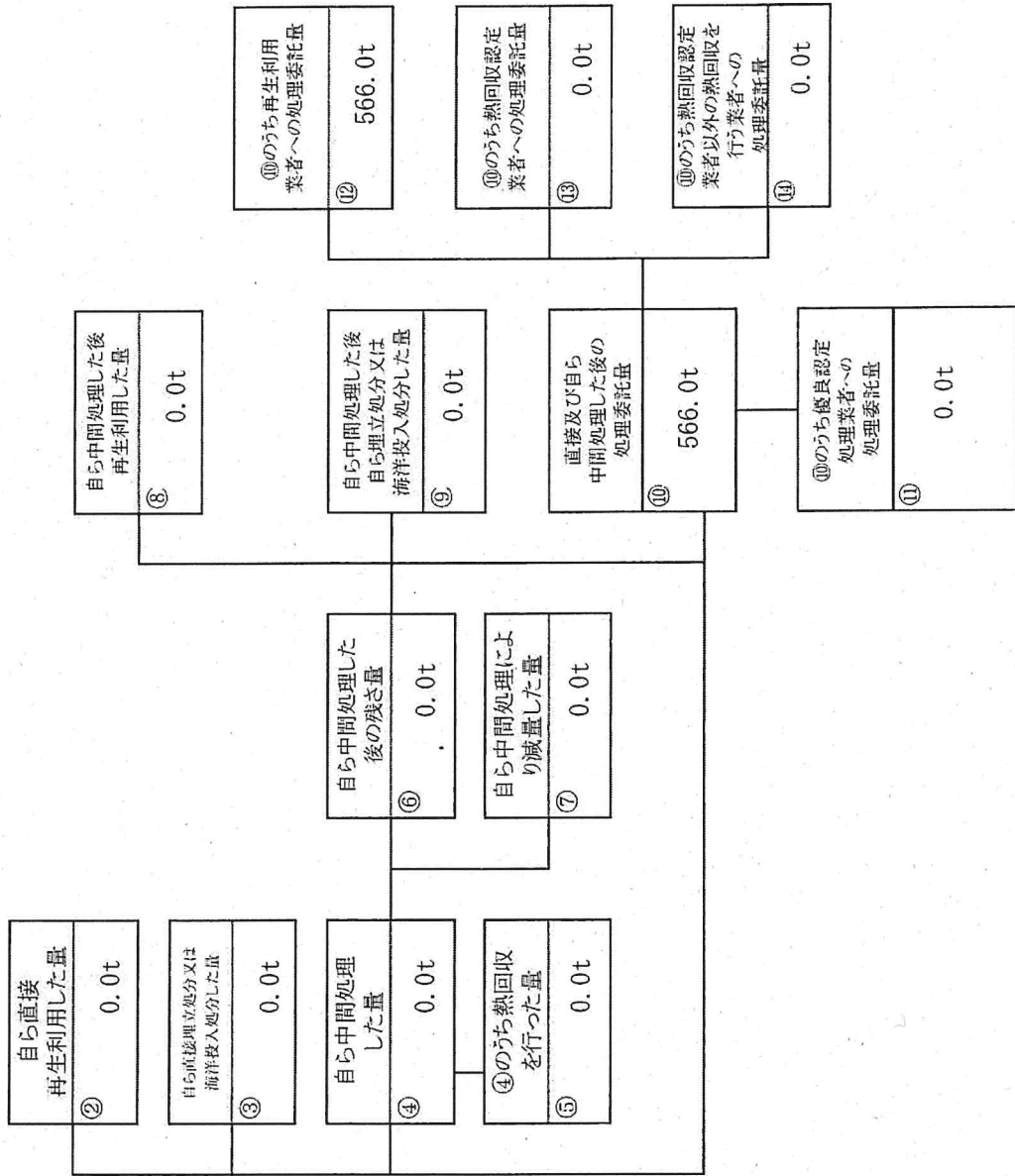
※事務処理欄



(単位：t)

(産業廃棄物の種類：アスコン破片)

計画の実施状況

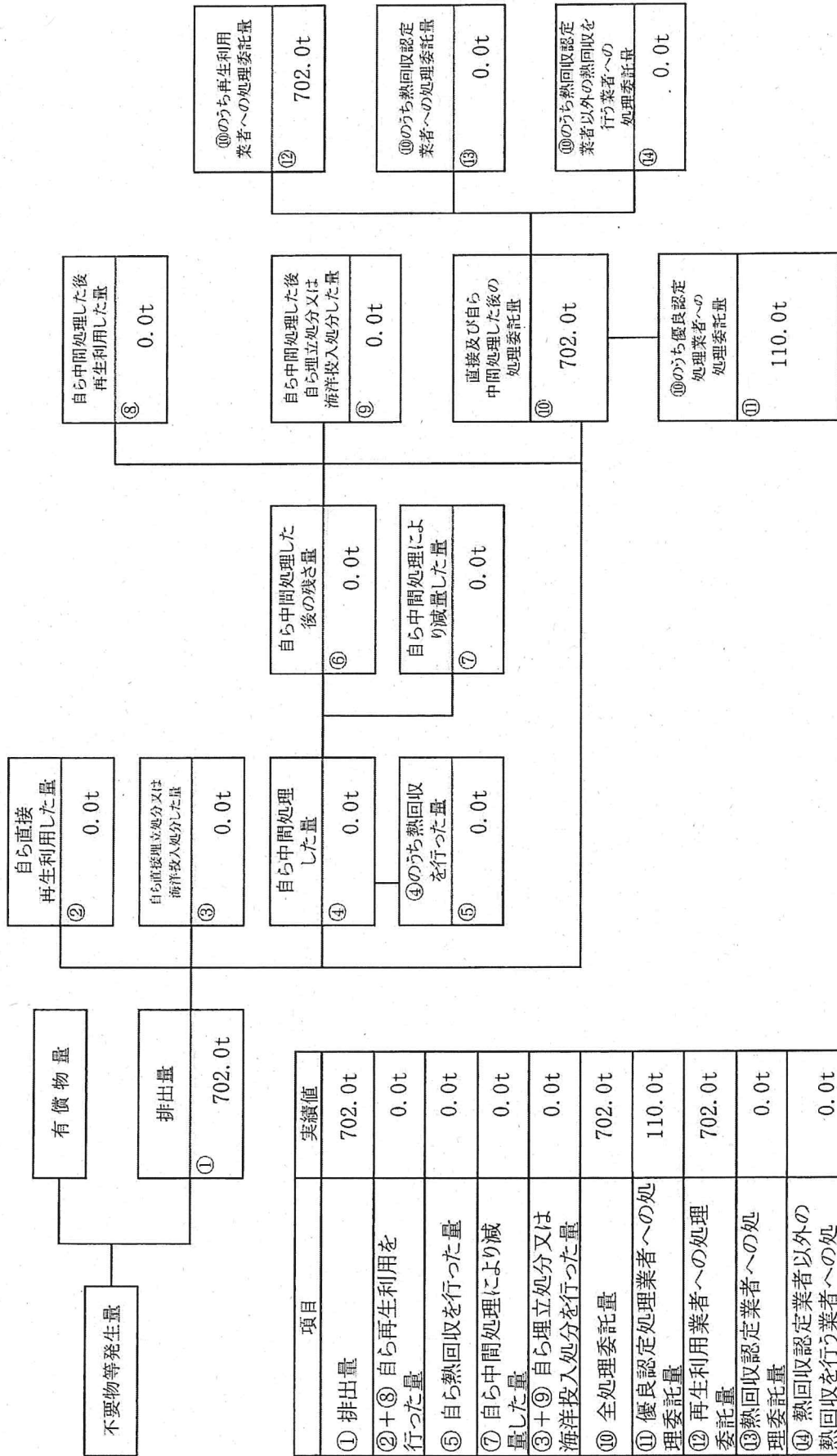


項目	実績値
① 排出量	566.0t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0t
⑩ 全処理委託量	566.0t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	566.0t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t

(単位：t)

(産業廃棄物の種類：コンクリート破片)

計画の実施状況

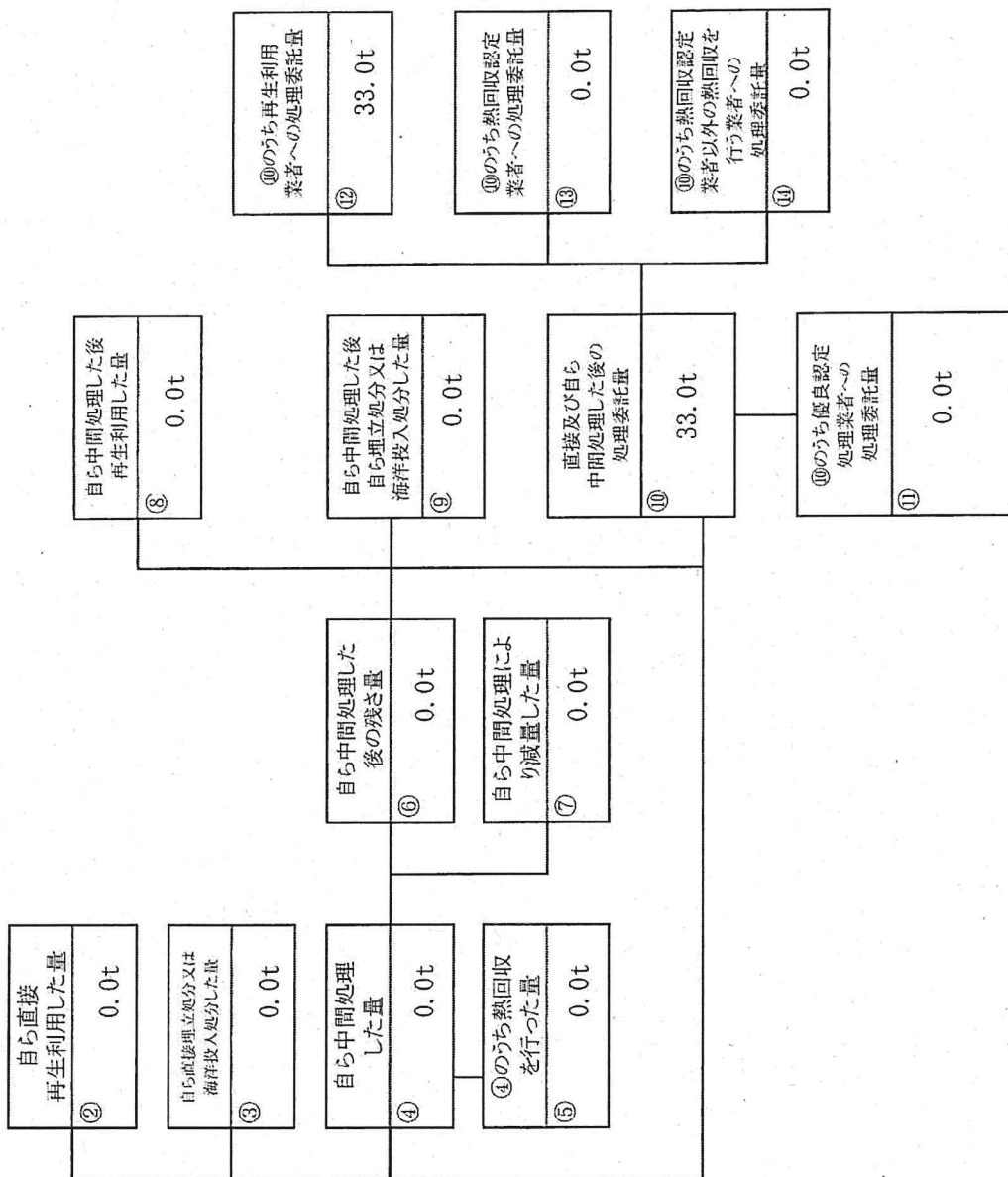


項目	実績値
① 排出量	702.0t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0t
⑩ 全処理委託量	702.0t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	110.0t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	702.0t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t

(単位：t)

(産業廃棄物の種類： がれき類)

計画の実施状況



項目	実績値
① 排出量	33.0t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0t
⑩ 全処理委託量	33.0t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	33.0t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
33.0t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
0.0t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
0.0t

⑧ 自ら中間処理した後の再生利用した量  
0.0t

⑨ 自ら中間処理した後の海洋投入処分した量  
0.0t

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
33.0t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
0.0t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量  
0.0t

⑦ 自ら中間処理による減量した量  
0.0t

② 自ら直接再生利用した量  
0.0t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
0.0t

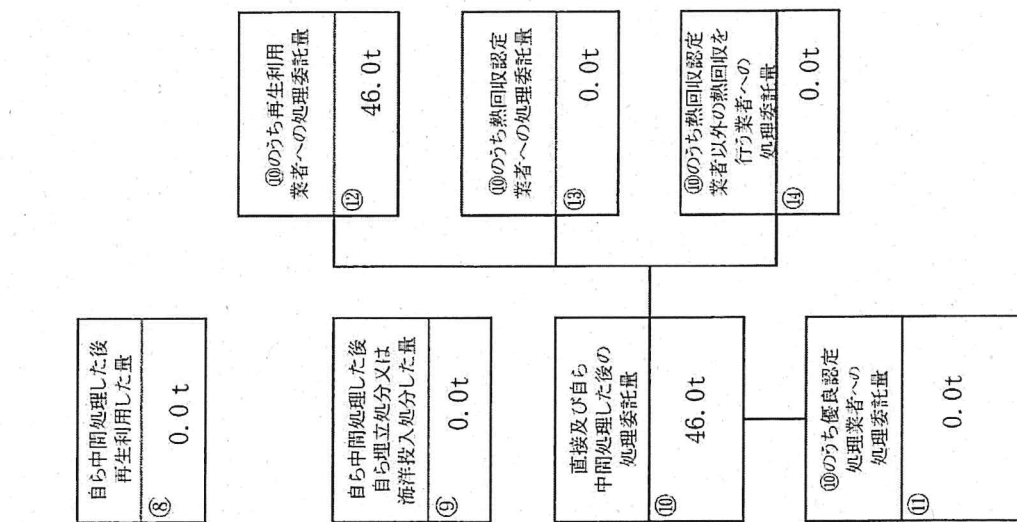
④ 自ら中間処理した量  
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量  
0.0t

① 排出量  
33.0t

(単位：t)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：汚泥)

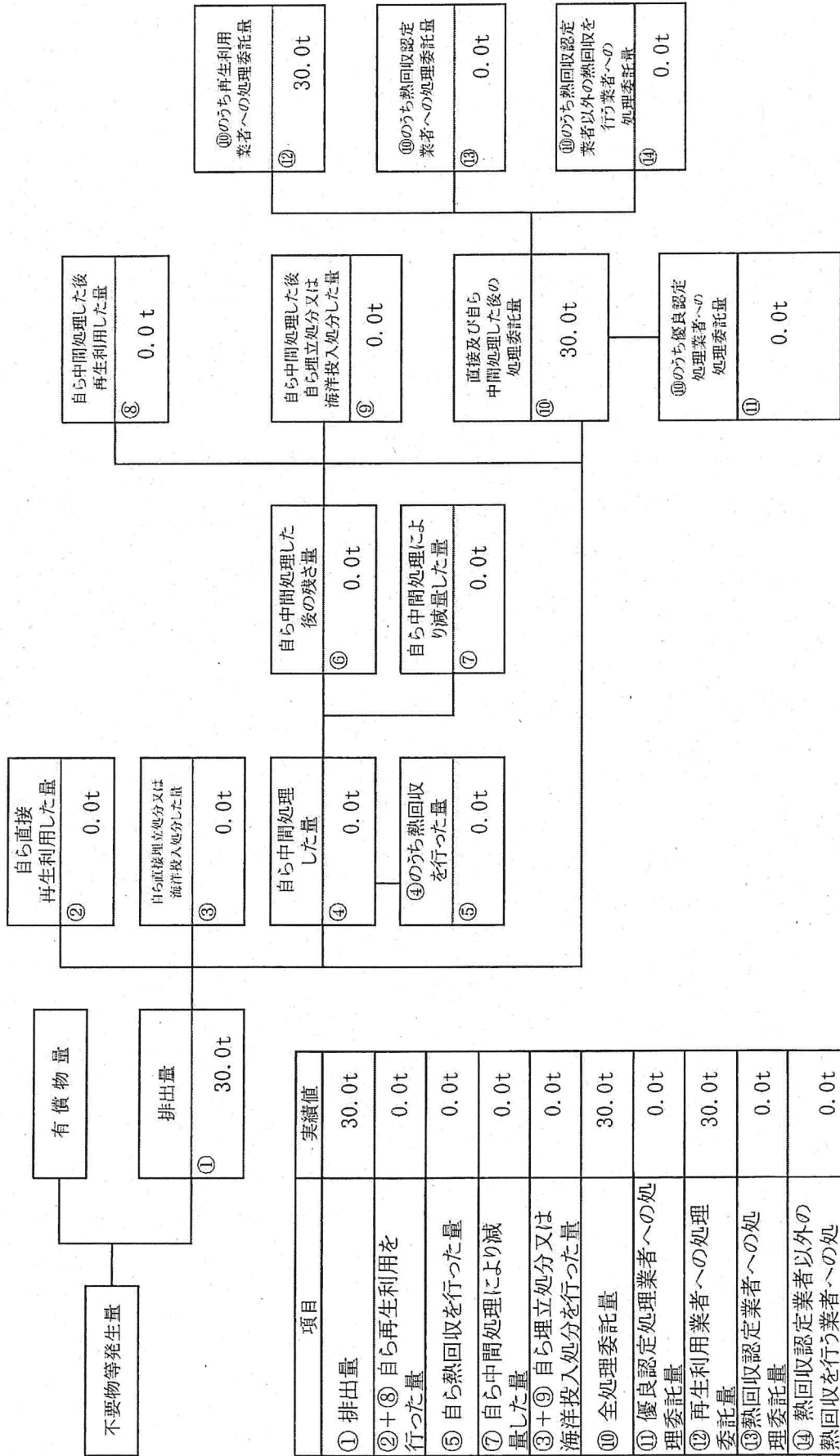


項目	実績値
① 排出量	46.0t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0t
⑩ 全処理委託量	46.0t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	46.0t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

(単位：t)



項目	実績値
① 排出量	30.0t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0t
⑩ 全処理委託量	30.0t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	30.0t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t

産業廃棄物処理計画書

令和6年 5月 16日

福岡市長  
高島 宗一郎

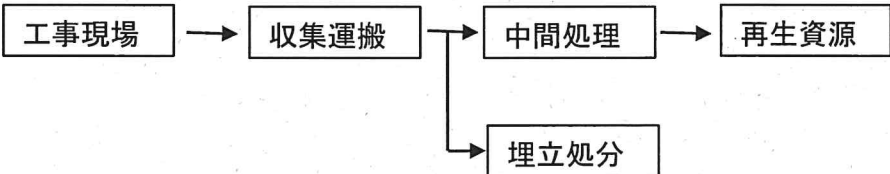
殿

提出者  
住 所 福岡市博多区金の隈2丁目24-5  
氏 名 萩尾舗道株式会社  
代表取締役 佐藤 忠美  
電話番号 092-586-5707

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	萩尾舗道 株式会社
事業場の所在地	福岡市博多区金の隈2丁目24-5
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

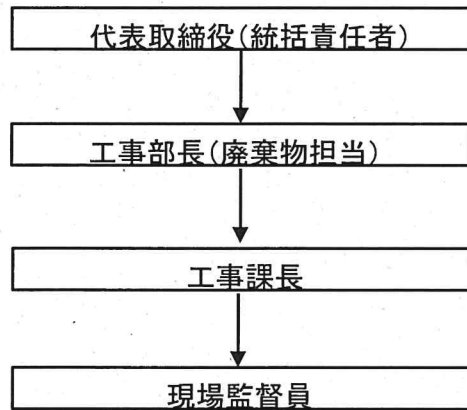
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業・職別工事業
②事業の規模	1億7600万円
③従業員数	19人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	1377 t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の排出量が抑制できる工法の提案を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	1000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の排出量が抑制できる工法の提案を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組んでいる。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組む。



## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	1377 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	110 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1377 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組) コンクリートがらについては、再生資材として販売している再生利用業者へ委託している。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	1000 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	100 t	t
	再生利用業者への処理委託量	900 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>がれき類については、前年度に引き続き、再生利用業者への委託を行うと共に、全てのがらを優良認定業者へ委託できるように検討していきたい。</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

